

令和元年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立内幸町ホール	所在地	千代田区内幸町1-5-1
-----	-------------	-----	--------------

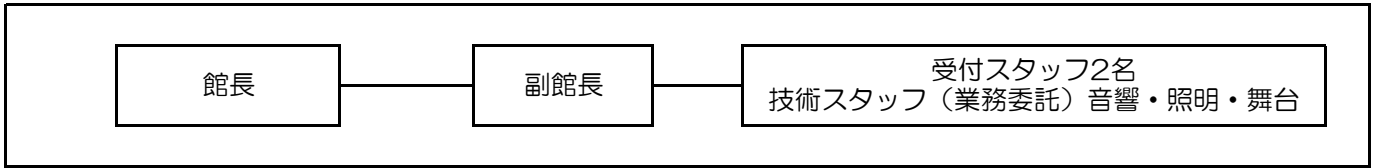
1 指定管理者の概要

名称	株式会社コンベンションリンケージ	代表者	平位 博昭
所在地	東京都千代田区三番町2 三番町KSビル		
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日	報告期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	千代田区の文化芸術の振興を図り、区民（区に住み、働き、学び、集う全ての人々をいう。以下同じ）が演劇・音楽等の文化芸術活動を実践できる場の提供、文化芸術活動を行う団体等の育成及び区民が文化芸術を享受する事ができる機会の提供を図ること、その他区民の利用に供する事を目的とする。
管理業務の内容	(1) ホール施設及び付帯設備（以下「ホール等」という）の利用承認等に関する事 (2) 演劇・音楽等の公演その他の催し物に関する事 (3) 区民の自主的な文化芸術活動意識の醸成に関する事 (4) 文化芸術活動を行う区内の団体等の支援及び育成に関する事 (5) ホール等の保守点検および施設設備の維持管理に関する事 (6) その他ホールの目的を達成するために必要な事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア ホール利用実績

	年間日数	休館日数・メンテナンス日数	日単位の利用実績			利用区分別の利用実績		
			利用可能日数	実利用日数	利用率	利用可能区分数	実利用区分数	利用率
令和元年度	366	18	348	318	91.38%	1012	831	82.11%
平成30年度	365	30	335	328	97.91%	979	854	87.23%
平成29年度	365	18	347	334	96.25%	1,005	884	87.96%

イ 利用目的別件数

	演劇	音楽	舞踊	落語	朗読	その他	合計
令和元年度	22	154	35	112	41	53	417
平成30年度	26	197	15	102	32	47	419
平成29年度	29	198	19	89	40	62	437

ウ ホール主催事業

計9演目（朗読・解説1回、音楽2回、落語2回、ミュージカル1回、オペラ1回、オペレッタ1回*、その他1回）

*オペレッタは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ ホール共催事業

内幸町ホール文化祭※（7日間：9団体＋ワークショップ発表会）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

オ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理（害虫駆除を含む）
- ・施設清掃業務
- ・警備業務
- ・ピアノ、音響、照明、舞台保守点検
- ・防火防災管理点検
- ・防火対象物点検
- ・消防設備点検
- ・防火設備点検
- ・避難訓練
- ・水防訓練

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	26,320,000円	人件費	16,346,248円
利用料金	46,246,615円	光熱水費	16,059,873円
主催事業	1,370,118円	事業費	3,564,805円
その他	9,310,938円	施設運営維持管理費	49,137,995円
合計(①)	83,247,671円	合計(②)	85,108,921円
収支差額(①-②)	-1,861,250円		

【参考】平成30年度指定管理料 25,937,000円

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>弊社の施設運営方針に基づき、安全安心・ホスピタリティ・倫理・コストパフォーマンスを心がけた運営を継続して実践してまいりました。特に、否定から入らない接遇の実施と、利用者の相談には利用する方の視点から費用対効果の最も高い案を提示することで利用者の満足度を高め、リピート利用者増を実現しています。また、公平性を担保する全員参加の利用抽選による利用申込み、利用者から一番納得できる抽選方法と評価をいただいています。弊社が提供するワンストップサービスも大変好評をいただいております、ホールとの打合せだけで全てが手配できると高い評価をいただいています。</p> <p>施設の修繕においては、指定管理者が実施する範疇のものは、保守点検時の指摘事項をもとに予算上限まで実施し、設備機器を良好な状態に保っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策としては、楽屋入口・ホール入口・館内トイレへのアルコール消毒液の設置や、ドアノブや座席肘などの消毒を実施しました。その他、館内外に新型コロナウイルス感染防止対策の啓発ポスターを掲示するなどの対策を実施しました。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、ライブ配信や動画収録などの新たな利用者のニーズにお応えしてまいります。</p>	<p>収入面では、高い利用率（稼働率）に現れているとおり、貸館事業においての高いリピート率と、公演を観に来た来場者が新規利用者となる相乗効果による利用件数の増加、ワンストップサービスの充実による利用件数の増加と好調を維持していましたが、年度末に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用件数が減少したことに伴い、収入も減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響による減収に対する補填については、現在区と協議を行っているところです。</p> <p>支出面では、想定外の舞台技術委託業者の変更により、予定していた委託料の予算を大幅に上回ったことと、10月に引き上げられた消費税率の影響が予測よりも大きく、収支を圧迫する結果となりました。</p> <p>次年度は、アルコール消毒液の購入等の感染防止対策に係る費用が増加することが予想されるため、無駄のない運営をこころがけ実践してまいります。</p>

7 区としての評価・今後の方向性

<p>ワンストップサービスの継続や職員のホスピタリティ意識の高さにより、利用者アンケートでは、スタッフの対応について「とてもよい」の評価が9割以上ついていることから、質の高いサービスを提供できていることがわかる。また、稼働率が高く、幅広く利用されているなかで、シャンソンコンクールの開催、夏休みにおける区民児童無料招待事業や、区内大使館と連携した国際交流事業の実施など、高いレベルの事業が開催されており、区の文化芸術の振興に寄与している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により先行きが不透明な状況だが、第4期目となる指定管理期間も、引き続き指定管理者のノウハウを生かし、必要な感染防止対策を講じながら、区の文化芸術の振興に取り組んでいただきたい。</p>
--